

特集

SDGs先進度、首位は京都市

全国市区調査 持続可能なまちづくり競う

6

2	片山善博の直言
4	ニュース & インサイド ふるさと納税、6月から見直し
5	霞が関 底流伏流（金融庁・経済産業省） 商工中金、焼け太り
38	グローバルインタビュー 総務相 石田 真敏氏
40	レポート 2019年統一地方選を占う
42	キーパーソン 国土交通省 蔵持 京治氏 バス路線の統廃合基準を見直し
44	自治体財政 改善のヒント 鈴木 文彦氏 人口減少時代の水道経営
46	事業承継と地方再生 後藤 俊夫氏 伝統とは革新の連続
48	観光DMOの生かし方 高橋 一夫氏 地域観光を先導する国内先駆者①
50	未来へつなぐ 子育て支援の現場から 小石 勝朗氏 千葉県南房総市・保幼小中一貫教育
52	変わる介護保険 自治体の課題 浅川 澄一氏 区別難しい有料老人ホーム
54	自治体行政と教育委員会 村上 祐介氏 新教育委員会制度の活用

56	大学、地域を拓く 宮崎大 県の未来のために活躍できる人材を育成
58	議長に聞く 愛知県岩倉市議会議長 黒川 武氏
59	ニュース・ウォッチング
62	Book Review/バックステージ



〈表紙の写真〉鹿児島県大崎町がSDGsアワード受賞

鹿児島県大崎町が2018年暮れ、「第2回ジャパンSDGsアワード」の副本部長賞を受賞した。安倍晋三首相から「高い資源リサイクル率で国内外のモデルとなつてがんばる地方自

治体」と紹介され、東靖弘町長が菅義偉官房長官から賞状を受け取った。

ごみのリサイクル率は80%を超え、06年以降11年連続で日本一。加

えてリサイクルの概念を活用した環境・グローバル人材の育成事業を実施していることなどが受賞の決め手となった。

(文=磯道 真、写真=葛西宇一郎)